
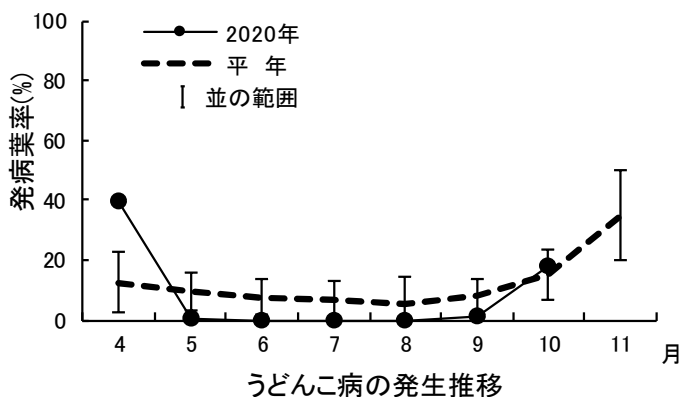


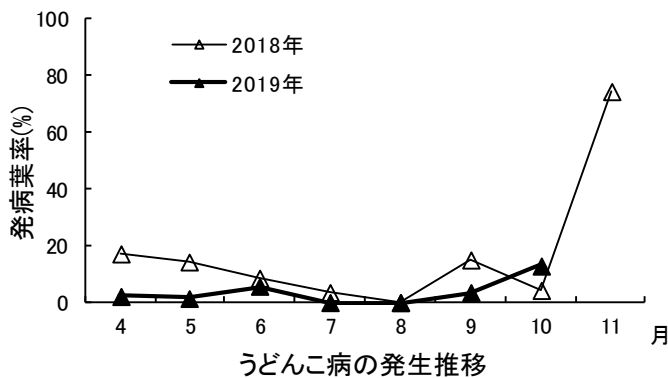
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	↗	
		11 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移




過去 2 年間の推移



発生ほ場率 : 100% (平年値 : 78.6%)

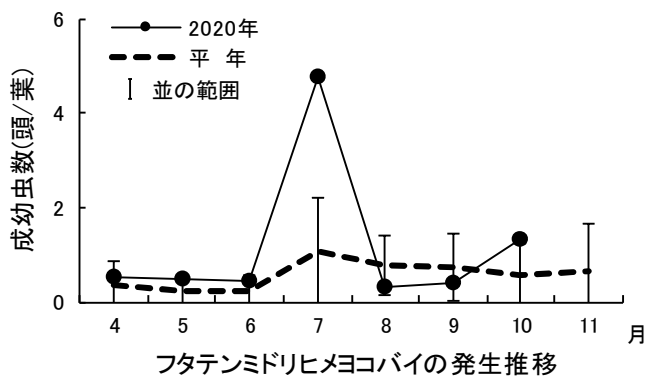
防除のポイント

- ・ 下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・ 窒素過多にならないようにする。
- ・ 草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

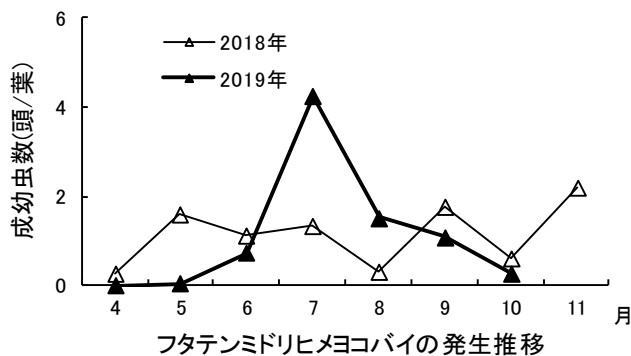
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	10 月からの増減傾向	→	
		11 月の発生量 (平年比)	やや多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



発生ほ場率：100% (平年値：66.7%)

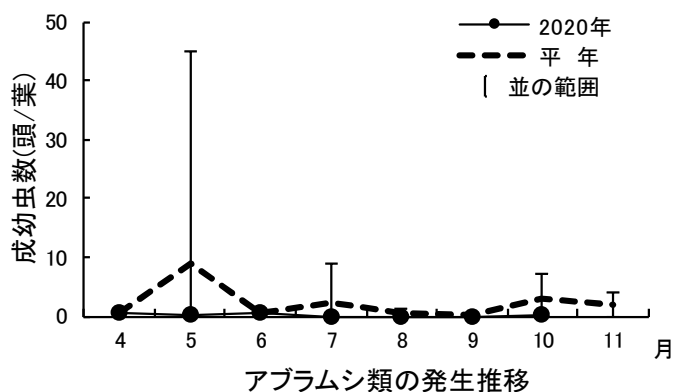
防除のポイント

- ・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

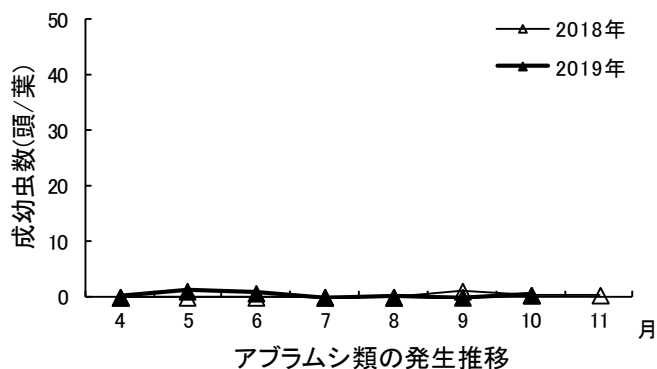
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	↓	
		11 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今期と平年の推移




過去 2 年間の推移



発生ほ場率 : 20 % (平年値 : 66.7%)

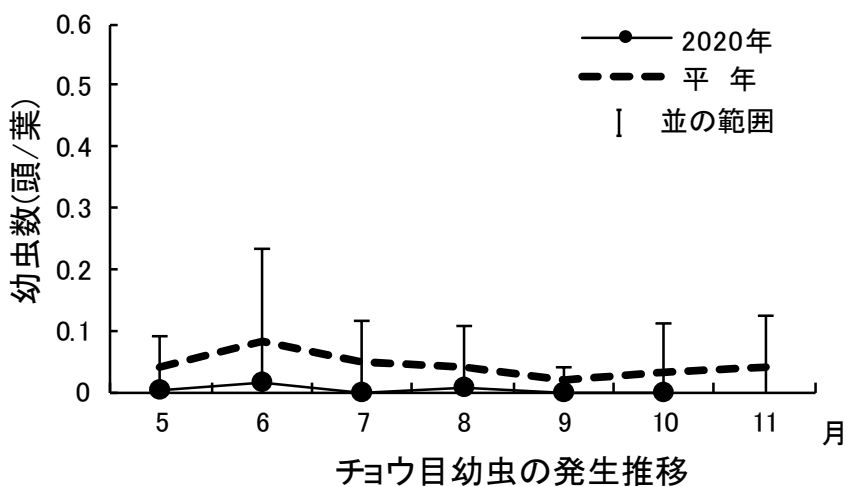
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ		地域	八重山群島
病害虫名	チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)			
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並		
予報	10 月からの増減傾向	→		
	11 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠			平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移



発生ほ場率 : 0% (平年値 : 23.5%)

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。

